



中央稲門会報

中央稲門会

第3号

中央勝ちどき4-13-2-201
TEL 03-5560-8751
FAX 03-5560-8752
発行人 藤井 和
編集人 緑野 恵司
田中見世子
松川 玉堂

早稲田の 杜になった 5月29日の銀座

お馴染みのハットリ時計の大時計をまじかに夕闇せまる銀座4丁目のスターホールでの恒例の第五回総会・懇親会は6時半丁度より始まった。今回は新しい会員出席も多く総勢70名にものぼった。司会は若手3人「吉田修司・緑野恵司・桜井次郎太の各氏」が担当。藤井会長の挨拶の後橋本副会長による2001年度事業報告と会計報告承認の件、松川監査役による監査報告と監査承認の件、続いて田中幹事長による役員改選の件と新旧役員の紹介および2002年度の事業計画と予算案承認の件が議題にかけられ「幹事さんご苦労様」のねぎらいの拍手と共に速やかに承認。ご来賓の皆様を紹介後は渡辺重範副総長よりの大学の近況報告、矢田美英中央区長「賛助会員」からの区の近況報告があった。かねてより当

稲門会としてはビンゴゲームの売上を125周年募金用に積立て、125万円を寄付することに幹事会で決定していた。奥島総長退任白井新総長「11月より就任」ということもあり区切りのよいところで先付け小切手を発行、75万をこの日に寄付することとした。中多泰子副会長から後藤由美子総長室募金課長にビッグな小切手が手渡され会場は大いに湧く。今回初めての参加で最長老の反保寿彦氏「1945年専門部政治経済科卒」の乾杯の音頭で懇親会へ。外はすでに銀座のネオンが輝き集まった会員もいっそう和やかに。参加者全員の紹介の後のいよいよビンゴゲームの開始。今年度は新会員の白井ご夫妻にお手伝いいただく。2回戦+敗者復活戦もあり大いに盛り上がる。ビンゴの売上も11万7千円となる。愉快的懇親のひと時を締めくくるのはなんといつても校歌。輪になって歌い締め。恒例の橋本副会



長による中央稲門会流3本締めの後、再会を期して散会となった。来年度の総会も同じ日・時・会場です。今から予定しておいてください。アエラのスタッフライターで軍事評論家の田岡俊次氏も飛入り参加。テレビで知られていることもあり、あちこちからお声がかかり記念撮影に引つ張りだこだった。

- ビンゴゲーム景品提供
 - 東京ドームホテルペア食事券・東京ドーム野球観戦ペアチケット「藤井会長」・銀座ヨシノヤハンドバック「矢代顧問」・銀座大志満ペア食事券「大嶋顧問」・銀河ペア食事券「橋本副会長」・図書券
 - 「中多副会長」・クロワッサンセット「長田会員」・石鹸セット「田中幹事長」・伊場仙扇子「吉田会員」・朝日新聞社知恵蔵「川上」・伊勢えびバック「鈴木幹事」・三越名人会ベアチケット「蓮池賛助会員」・銀座大和やカジュアルハンドバック「岩上顧問」・銀座「お多幸食事券」
 - 「野田顧問」・秋山商店お多福豆「秋山会員」・図書券「佐藤幹事」・銀座やす幸鯉節バック「石原顧問」・マツヤオリジナルハンカチ(東幹事)
 - このほか奥島総長著書「新世紀への挑戦他」「募金課」・月刊日本橋「上林」堤会員より
- 当日の出席者
 - 渡辺重範副総長
 - 後藤由美子総長室募金課長
 - 矢田美英区長・賛助会員
 - 榎本雄一東京23区連合、江東稲門会幹事長
 - 荻原昌昭新宿稲門会幹事長
 - 小林昌尚江戸川稲門会会長
 - 手塚善雄千代田稲門会会長
 - 柳橋元八足立稲門会副会長
 - 大橋正足立稲門会副会長
 - 山口幸一墨田稲門会幹事長
 - 谷津光信葛飾稲門会幹事
 - 田岡俊次校友・軍事評論家
 - 桂石團治客員会員・落語家
 - 新会員
 - 秋池忠雄・追川繁・上村寿巳雄・河合洋介・木山剛史
 - 佐藤緋奈子・塩田貞治・越智泰雄・上林武人・白井浩明夫
 - 妻・杉原征价・田中太刀勇
 - 雄・堤哲・藤木克巳・前田康貴・三輪裕児・山本健二・渡辺隆。渡辺幸生
 - 会員
 - 東章二・石井精二郎・岩上定弘・梶川康二・木下安史・木目田正人・久保博司・桜井治郎太・佐藤文隆・佐藤誠・塩浦文吉・篠田賢次・島田平・下村孝・尚公子・高野瑛雄・田中見世子・反保寿彦夫
 - 妻・中多泰子・中村哲三・橋本栄一・藤井和・町村昭夫・

- 幹事 石田 清絵 (1980年 法学研)
- 幹事 鈴木 寿一 (1976年 社会科)
- 幹事 東 章一 (1971年 政経)
- 幹事 佐藤 誠 (1968年 政経)
- 幹事 尚 公子 (1967年 文)
- 幹事 田原 節子 (1959年 文)
- 監査 中村哲三 (1966年 法、新任)
- 三浦 十美雄 (1966年 政経、新任)
- 幹事 桜井 次郎太 (1990年 政経、新任)
- 幹事 松川 昭義 (1967年商、監査→幹事)
- 幹事 緑野 恵司 (1975年 社会科、新任)
- 幹事 (会計) 吉田 修司 (1983年 政経、新任)
- 幹事 田中 見世子 (1966年 理工、留任)
- 幹事 松川 昭義 (1966年 政経、留任)
- 副会長 (名簿) 橋本 榮一 (1964年 理工、留任)
- 副会長 中多 泰子 (1958年 文、留任)
- 副会長 藤井 和 (1959年 政経、留任)
- 新役員 (2002・2004年)
- 松川昭義・三崎屋義正・緑野 恵司・森山潤・吉田不曇

中央稲門会 2001年度事業報告

2002年5月29日

- 2001年 5月29日 (土) 第4回 総会・懇親ビンゴパーティー 於 サッポロ銀座ビルスターホール
- 2001年 6月 2日 (土) たいめいけん右團治落語会 於 日本橋たいめいけん
- 2001年 7月28日 (土) 「帆船キャリアド号」東京湾サセットディナークルーズ (参加30名)
- 2001年10月21日 (日) ホームカミング・稲門祭・東京23区連合のつどい参加
- 2001年11月12日 (月) 「砂場」「伊場仙」出展・販売に協力、225千円を125周年募金基金として23区連合に寄付
- 2001年11月17日 (土) 奥島総長杯ゴルフ大会参加
- 2001年11月23日 (祝) 「たいめいけん」茂田木さん実技指導による「男の料理教室」於 築地社会教育会館
- 2002年 1月29日 (火) 柴又を訪ね、葛飾稲門会と交流 於 川基
- 2002年 4月 6日 (土) 新年交流会 (参加26名) 於 青木会員のお店「銀座汁八」
- 2002年度 随時 築地川公園お花見交流会 (異例の早咲きにより中止)
- 2001年 9月 随時 近隣稲門会総会への出席
- 2001年 9月 随時 中央稲門会会報と名簿発行
- 2001年 9月 随時 ニュースレター発行
- 2001年 9月 随時 年数回幹事会開催

中央稲門会 2002年度事業計画

- 2002年 5月29日 第4回 総会・懇親ビンゴパーティー 於 サッポロ銀座ビルスターホール
- 2002年 6月22日 (土) 125周年募金に、125万円寄付申込
- 2002年 7月 3日 (水) 125周年協賛大学グッズ開発事業スタート
- 2002年 8月24or31日 (土) たいめいけん右團治落語会 於 日本橋たいめいけん
- 2002年10月20日 (日) 稲門ハワイの集い 於 米国ハワイ州
- 2002年11月 9日 (土) 「帆船キャリアド号」東京湾サンセットディナークルーズ
- 2002年11月22日 (金) ホームカミング・稲門祭・東京23区連合のつどい参加
- 2003年 1月 随時 室町砂場 右團治落語会 於 室町砂場
- 2003年 2月 2日 (日) 総長杯ゴルフ大会 於 大柴ゴルフクラブ
- 2003年 2月 随時 新年交流会 於 芝浦 牡丹
- 2003年 2月 随時 大江戸寄席 於 日本橋 三越劇場
- 2002年度 随時 冬ぼたん鑑賞とぼたん鍋堪能会 於 上野 東照宮
- 2002年 9月 随時 近隣稲門会総会への出席
- 2002年 9月 随時 中央稲門会会報と名簿発行
- 2002年 9月 随時 ニュースレター発行
- 2002年度 随時 年数回幹事会開催



[予告] 2003年度 第6回総会・懇親会 2003年5月29日(木)

中央稲門会 2001年度 収支報告

2002年度予算案

1) 収入の部	予 算	実 績	備 考	1) 収入の部	実 績	1) 収入の部	予 算
総会会費	¥200,000	¥288,000	48名	総会会費	¥288,000	総会会費	¥300,000
年会費	¥300,000	¥345,147	115名	年会費	¥345,147	イベント補助	¥350,000
福引売上	¥60,000	¥125,000		福引売上	¥125,000	会報費	¥140,000
組織強化補助費	¥98,000	¥100,000		組織強化補助費	¥100,000	通信費	¥110,000
その他	¥0	¥90,244	来賓ご祝儀、寄付、利子等	その他	¥90,244	会合参加費	¥90,000
前期繰越金	¥52,488	¥52,488		前期繰越金	¥52,488	事務局費用	¥30,000
小 計	¥710,488	¥1,000,879		前期繰越金	¥52,488	1 2 5 周年積立	¥100,000
2) 費用の部	予 算	実 績	備 考	小 計	¥1,000,879	予備費	¥30,488
総会費	¥250,000	¥300,270		小 計	¥1,000,879	次期繰越	¥0
イベント補助	¥0	¥0	01年度は予備費勘定	2) 費用の部	実 績	2) 費用の部	予 算
会報費	¥150,000	¥91,845	組織強化費の一部充当	総会費	¥300,270	総会費	¥350,000
通信費	¥70,000	¥78,752	組織強化費の一部充当	イベント補助	¥0	イベント補助	¥50,000
会合参加費	¥80,000	¥91,315	校友大会、連合大会参加費等	会報費	¥91,845	会報費	¥140,000
事務局費用	¥30,000	¥46,095	ソフト改版購入を含	通信費	¥78,752	通信費	¥110,000
1 2 5 周年積立	¥100,000	¥125,000		会合参加費	¥91,315	会合参加費	¥90,000
予備費	¥30,488	¥30,000	イベント補助	事務局費用	¥46,095	事務局費用	¥20,000
次期繰越	¥0	¥237,602		1 2 5 周年積立	¥125,000	1 2 5 周年積立	¥425,000
小 計	¥710,488	¥1,000,879		予備費	¥30,000	予備費	¥30,000
3) 特別会計	予 算	実 績	備 考	次期繰越	¥237,602	次期繰越	¥135,000
前期繰越	¥200,000	¥200,000	99/00年分	小 計	¥1,000,879	小 計	¥1,350,000
今期積立	¥100,000	¥125,000	01年分	3) 特別会計	実 績	3) 特別会計	予 算
大学への納入	¥0	¥0		前期繰越	¥200,000	前期繰越	¥325,000
次期繰越	¥300,000	¥325,000		今期積立	¥125,000	今期積立	¥425,000
				大学への納入	¥0	大学への納入	¥750,000
				次期繰越	¥325,000	次期繰越	¥0

2002年3月31日 監査役 田原 節子 松川 昭義



会員エッセイ



堤 哲
元毎日新聞記者
現東白印刷監査
役 1964年
政経卒



藤木 克巳
藤木酒店取締役
1953年
政経卒

ワセダには7年間お世話になった。高等学院から学部に進んだのが60年安保の年。「全学ストで闘え」などのタテ看で埋まり、アジ演説で騒然としていた。その構内で創刊したばかりの「早稲田スポーツ」が1部10円で売られていた。「ひよっ」として六大学野球がタタで見られるのではないか」運命的な出会いであった。縮刷版を調べると創刊5号(60年5月25日号)にアメフトの早慶戦の記事を書いている。

私の泰明の同級でやす幸の石原がいる。小生数学が大の苦手だったので何処かないかと探したら専門部の政経科が英語国語と数学か社会の選択だったのでいち早く受験した。その頃4年制への切替時だったので学部へ編入となり5年間過ごせた。

入学式の時に学生自治委員に選ばれた。当時は学生運動といっても学園内の設備の充実、授業料値上げ反対と言ったおとなしいものだった。後に東大生が応援演説に来て何とか学外闘争に加わるようけしかけていたがその部屋に神楽坂署の私服が潜んでいるのを見つけ教室に軟禁したことを憶えている。

委員のお陰で後の総長時子山先生や学部長の久保田明光先生と親しく接する事ができた。年一回の行事として模擬国会が開かれ内閣と同時に委員会が結成される。私は予算委員をさせられたが三年位下によく喋る小柄な奴がいた。それが海部だった。また印象に残るのは六大学野球。早慶

秋の早慶6連戦はむろん取材記者として全試合観戦した。年間10回の新聞発行に加えて「早稲田スポーツ年鑑」まで創刊。取材より広告取りに追われたのだが、当時の体育局運動部39の同期の仲間(野球部村上唯三郎、応援部福田秋秀君ら)と「早龍」卒業した「昭和39年が辰年」を作り毎年3月9日に集まっている。5年に一度は慶応と合同例会、お陰で人脈はワセダばかりでなく三田まで広がった。

戦のあと店から調達した焼酎を車座になってあおったものだった。特に最後の最後で優勝した時には新宿の伊勢丹から駅に向かって20人位並び極東組のお兄さん達に前後を守られながら校歌を謳ったこともあった。反対に銀座に帰ってくる橋の真中に体格の良い慶大生が立っており角帽を隠しバッジを押えて下を向いていないとひどい目に合いつた。思えば出がある。

昭和22年頃はまだGHQの支配下にあつたため思想の变化にかなりの神経が使われ教授が全体とか忠義とかいった言葉を授業で使っただけでMPに拘束されて行くことが数回あつた。当時の新しい政治や経済の理論を教材にと外国書を求めてもなかなか手に入らないので密かにレポートを仕入れ校内印刷所で製本した。勉強ばかりに熱中して成績を上げた者に限ってさほど良い企業に就職できなかった。

大学と言うのは色々遊ぶことで自分を見出す所でもあると私は思う。しかし我々のクラスで成績抜群の男が日銀に入り当時総裁だった一萬田氏の娘婿になった例もあるから矢張り頭が良い事に越した事はない。色々思い出は尽きないが今回はこれまでとします。



越智 泰雄
(株)電通
1989年
政経卒

「良き師、佳き朋友(とも)、そして好き同窓」
私が、早稲田の門をくぐったのは、早稲田創立百周年の1982(昭和57)年のこと。
そして学舎を巣立ったのは、寄り道を繰り返して1991(平成3)年になりました。

おそらく皆さんもそれぞれお感じになったところかと存じますが、早稲田こそは「良き師、佳き朋友、集い結び」(まるでどこかの校歌の一節ですね)でした。

日本の近代化を世界史に位置付け、今や「文明の海洋史観」で知られる川勝平太郎や、気骨あるジェントルマンで政治経済学部長を務められた小松雅雄師の下で、早稲田の人と学問を学びました(ちなみに私は小松先生から「天に愛される崎人」という有り難い評を頂戴したことがあります)。自分は単なる劣等生でしたので、厳しい学びの時間を楽しい時間に変えてくれたのは、ゼミナリアン、同じ大学院の研究室の朋友でした。今でも年二、三回、誰か東京出張がある度に集まっています。

名前を挙げれば枚挙の暇もないくらい、先生方、友人達に良くして湧きました。驚いたのはマンモス大学にもかかわらず、潜り込んだ他学部での講義の先生方(例えば文学部の佐土原義博教授)にも可愛がっていただきました。教育は、知育・徳育・体育からなるとは言いますが、大学でもそんなことがあるとは思わなかったところ、甲子園野球の審判で有名な体育局(当時)の審判で有名人日永師にお世話になったことも思い出です。

卒業してからも、OB会、地域・職域の稲門会がきっかけになっているのには驚き、三たびびっくり。昨年3月11日、晴海埠頭で式を挙げ、ばしゅいっくつびいなす船上で結婚披露をし、新たな人生の出発と、中央区晴海に越して参りまして、舟き同窓、中央稲門会の皆さんのご厚誼を賜るようになった次第です。今後とも日本、東泉のまん中で、世界に開かれた中央の稲門会のしんがりを務めさせて傾きたく存じますので、諸先輩にはよろしくご指導ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

お知らせ

中央稲門会入会のおすすめ

「芸能とグルメそして文化」を合言葉に120名の会費会員と時々行事に参加する一時会員とで成り立っている地域稲門会です。来る者拒まず去る者は再会を願い地域に根ざした楽しい会を続けていきます。興味ある方は連絡ください。

年会費 ¥3200

2年目からは自動振込み制

三井住友銀行築地支店

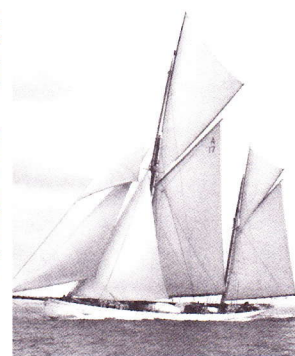
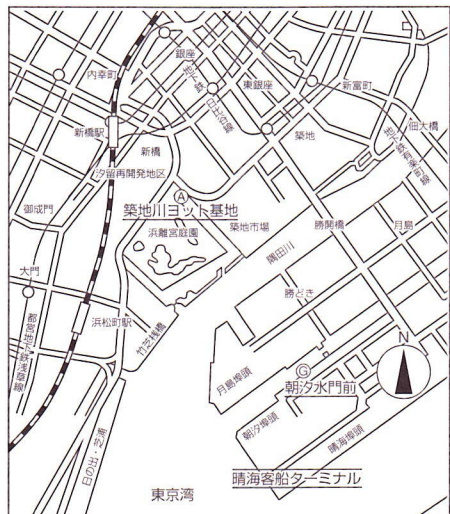
普6468185

●特別企画●

帆船キャリアアド号東京湾サンセットデザイナークルーズ
人数限定35人

出航日

8月24日(土) 雨天決行
午後4時集合



集合場所 昨年同様晴海の
黎明公園正面入口

出航ふ頭 朝汐水門前

5時出航 帰港9時頃

会費 ¥1万円

申込み先 事務局田中まで

TEL 5560-8751

FAX 5560-8752

mail:cherry@netjoy.ne.jp

申込者に個別連絡します。

伝説の帆船キャリアアド号はついにヨーロッパに里帰りすることになりました。大好評につき

今回2回目を企画しましたがこれで最後です。もう日本には戻って来ません。出来るだけ参加してもらいたいです。

●グルメ&落語第2弾予告

十一月九日(土)

二時~五時新そばと右

團治落語会 in 室町砂場

室町4-1-13

TEL 3241-4038

事務局まで申込んでください。

●グルメ&落語第1弾報告

6月22日



(土)、右團治落語会 in たいめいけんには40人が参加。兄弟子の

桂平治も出演しにぎやかに開かれた。長田衛会員「落語良しワイン美味しの楽しい会でした」茂出木社長は慶應出身だが落語好きの先代の意志をついで右團治を応援してくれている。目と鼻の先に(仮)金融大学院が出来る事でもあり益々早慶の縁が深くなるだろう。



●「奥島総長に感謝する会」案内

9月19日(木)6時半より

大隈小講堂で講演会……千円

リーガロイヤルホテル東京で懇親

会……二万円、申込みは田中まで。

FAX 5560-8752

Cherry@netjoy.ne.jp <